

判定区分(2014年4月1日改定)

項 目		A異常なし	B軽度異常	C要経過観察・生活改善	D要医療 D1要治療・D2要精検 *1	E 治療 中 *7
体格指数 (BMI) kg/m ²		18.5-24.9		-18.4, 25.0-		
腹 囲 cm	男性	-84.9		85.0-		
	女性	-89.9		90.0-		
血 圧 mmHg (2回測定:平均値)	収縮期	-129	130-139	140-159	160-	
	拡張期	-84	85-89	90-99	100-	
心拍数 (仰臥位) 回/分		45-85		40-44, 86-100	-39, 101-	
眼底検査 (Scheie分類)		0	1	2	3-4	
視力 (裸眼, 矯正両方の場合は矯正で判定) (悪い側で判定)		1.0-		0.7-0.9	-0.6	
聴力 dB	1000Hz	-30		35	40-	
	4000Hz	-30		35	40-	
呼吸機能 (スパイロメトリー) 小数点1ケタ表記に変更 *2	1秒率(%)	70.0-		-69.9	-69.9	
	%1秒量(予測1秒量に対する%)			80.0-	-79.9	
	%肺活量(%)	80.0-			-79.9	
総たんぱく g/dL		6.5-8.0	8.1-9.0	6.0-6.4	-5.9, 9.1-	
アルブミン g/dL		4.0-		3.6-3.9	-3.5	
クレアチニン mg/dL (eGFRを優先して判定) (小数点2ケタ表記に変更)	男性	-1.00	1.01-1.09	1.10-1.29	1.30-	
	女性	-0.70	0.71-0.79	0.80-0.99	1.00-	
eGFR(mL/分/1.73m ² による) (小数点1ケタ表記に変更)		60.0-		50.0-59.9	-49.9	
尿酸 mg/dL		2.1-7.0	7.1-7.5	-2.0, 7.6-8.9	9.0-	
総コレステロール mg/dL *3		140-199	200-219	220-259	-139, 260-	
HDLコレステロール mg/dL		40-119		30-39	-29, 120-	
LDLコレステロール mg/dL		60-119	120-139	140-179	-59, 180-	
中性脂肪 mg/dL		30-149	150-199	200-399	-29, 400-	
AST (GOT) U/L		0-30	31-35	36-50	51-	
ALT (GPT) U/L		0-30	31-40	41-50	51-	
γ-GT(γ-GTP) U/L		0-50	51-80	81-100	101-	
FPG (血糖) 空腹時血糖 mg/dL		FPG: -99 かつ HbA1c: <u>5.5</u>	1) FPG: 100-109かつHbA1c: <u>5.9</u> 2) FPG: -99かつHbA1c: <u>5.6-5.9</u>	1) FPG: 110-125 2) HbA1c: <u>6.0-6.4</u> 3) FPG: 126-かつHbA1c: <u>6.4</u> 4) FPG: -125かつHbA1c: <u>6.5-</u>	FPG: 126- かつ HbA1c: <u>6.5-</u>	
HbA1c(NGSP) % *4			1), 2) のいずれかのもの	1) ~4) のいずれかのもの *5		
赤血球数 10 ⁴ /μL	男性	400-539	540-599	360-399	-359, 600-	
	女性	360-489	490-549	330-359	-329, 550-	
白血球数 10 ³ /μL		3.2-8.5	8.6-8.9	2.6-3.1	-2.5, 9.0-	
血色素量 g/dL	男性	13.1-16.6	16.7-17.9	12.0-13.0	-11.9, 18.0-	
	女性	12.1-14.6	14.7-15.9	11.0-12.0	-10.9, 16.0-	
ヘマトクリット %	男性	38.5-48.9	49.0-50.9	35.4-38.4	-35.3, 51.0-	
	女性	35.5-43.9	44.0-47.9	32.4-35.4	-32.3, 48.0-	
血小板数 10 ⁴ /μL		13.0-34.9	35.0-39.9	10.0-12.9	-9.9, 40.0-	
CRP (小数点2ケタ表記に変更) mg/dL		-0.30	0.31-0.99		1.00-	
梅毒反応		陰性			陽性	
HBs抗原		陰性			陽性	
尿蛋白		(-)	(+-)	(+)	(++) -	

項 目		A異常なし	B軽度異常	C要経過観察・生活改善	D要医療 D1要治療・D2要精検 *1	E 治療中 *7
尿糖		(-)		(+-)	(+) -	
尿潜血		(-)	(+-)	(+)	(++) -	
便潜血 2回法	1回目	(-)			(+)	
	2回目	(-)			(+) (+), (+) (-), (-) (+)	
子宮頸部細胞診	ベセスダ分類	NILM		不適正標本=判定不能(すみやかに再検査)・ASC-US *6	ASC-H, LSIL, HSIL, SCC, AGC, AIS, Adenocarcinoma, Other malign	
HCV抗体		陰性			陽性	

*1 値の高低、所見によってはD1要治療、D2要精検のいずれかを採用するかは任意とする

*2 呼吸機能検査は検者、被験者の良好の関係が数値を微妙に変えるので注意する

また、1秒率、%1秒量の組み合わせで閉塞性障害の重症度を判定する

1秒率が70%未満かつ%1秒量80%以上が軽症、79%以下が中等症以上と判定する

1秒率、%肺活量の組み合わせで閉塞性、拘束性、混合性換気障害と判定する

*3 総コレステロールよりLDLコレステロール判定を優先する

*4 判定区分でのHbA1cの表記はNGSP値である。HbA1c(NGSP値)は=1.02×JDS値(%) + 0.25%で変換可能である

*5 空腹時血糖、HbA1c(NGSP)併合判定C区分の3)4)と判定した場合はOGTTを推奨する

*6 不適正標本はすみやかに再検査、ASC-USは6か月後再検査とする

*7 従前どおり治療中の場合はE判定とする

項 目	検査方法
総たんぱく	Biuret法
アルブミン*	BCG法、BCP改良法
総コレステロール	酵素法
LDLコレステロール	直接法(非沈殿法:可視吸光光度法、紫外吸光光度法)
HDLコレステロール	直接法(非沈殿法:可視吸光光度法、紫外吸光光度法)
中性脂肪	酵素比色法、グリセロール消去(可視吸光光度法、紫外吸光光度法)
クレアチニン	酵素法
尿酸	ウリカーゼPOD法
AST(GOT)	JSCC標準化対応法
ALT(GPT)	JSCC標準化対応法
γ-GT(γ-GTP)	JSCC標準化対応法
空腹時血糖	酵素法、電極法
HbA1c	ラテックス凝集比濁法、HPLC法、酵素法
梅毒反応	梅毒脂質抗原使用法
CRP	ラテックス凝集免疫比濁法、免疫比濁法、免疫比濁法

*アルブミンのBCG法とBCP改良法の差異は下記を参照

<http://www.jslm.org/others/news/20131225albumin.pdf>